



るるるる



2020年
5月
No.869

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>

■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 李明生 koho@jelc.or.jp

■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社

■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)

■振替口座 ■ 00190-7-1734

説教「息」

日本福音ルーテル西宮・神戸・神戸東教会 牧師 竹田大地

「わたしは、主が霊を授けて、主の民すべてが預言者になればよいと切望しているのだ。」
(民数記11:29)

私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安とが、あなたがたにあるように。

「突然、天の中から外へ音が来た。猛烈な息のようであった。そして、彼らが座っている家を満たした。」(使徒言行録2:2より私訳)と記されています。

「天の中から外へ音が来た」とあるように、聖霊は「音」であり、それが「猛烈な息」だったと表現されています。

詩編には「あなたの顔をあなたに隠せば、彼らは恐れる。あなたが彼らの息を取り除けば、彼らは枯れ、塵に戻る」(詩編104:29より私訳)と記されています。

またエゼキエル書37章の預言にも、谷のおびただしい枯れた骨が、預言

すると集まり肉と皮が付いたが、彼らの中には霊は無かったとあります。そして、更に霊に預言すると、それらの中に入り、生き返ったとあります。

人間の創造においても、塵から象つた人間に鼻から息を吹き込むと生きる者となったと記されています。このようにして、神の霊、息こそが私たちを生かす源であると聖書は証しています。

この私たちを生かす息が、教会を教会とするのです。「同が一つになつて集まっている」とあるようにそこにはキリストの弟子たちは集っていました。そんな彼らに主は「猛烈な息」を送り、神の御心を語る者へと造り変え、新しい命の道へと遣わし

教会という神の御心を世に証しする人々を召し出したのです。

しかしこれは新奇なことではありません。「わたしは、主が霊を授けて、主の民すべてが預言者になればよいと切望している」(民1:29)と語られているように、神は私たち一人ひとりが主の御ことばを人々に語り、伝えることをずっと心から望んでおられることです。

ですから、それは今を生きる私たちに對しても神が望んでおられる思いです。私たち一人ひとりが神から召された預言者であり、神の御ことばを世に宣べ伝えることによつて教会は教会とされる。この神の出来事こそが教会が教会として立つ本質



です。

私たちは、様々に対策を講じ、宣教とは、伝道とは何かと考えます。しかし、それが人間の知恵によるものに陥っていないか。私たちに与えられている猛烈な息を感じない状態にないか。その息は、何をせよと、何を語れと命じているでしょうか。この事を改めて神から問われています。神の御ことばを伝えること、そのままに私たちの思いを混ぜて語るのでなく、神の御ことばそれ自身を語り、成し得ないこと。主が私たち一人ひとりに猛烈な息を吹き込んで臨み、私たちを満たしています。

「主の民すべてが預言者になればよいと切望している」神の御心が現実となることを私たち自身の祈りとして、神からの息に導かれ、強められながら福音宣教が成ることを信じていきましょう。

人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いを、キリスト・イエスにあつて守るよう。

であるならば、私たちは「わたしの言葉に耳を傾けてください」と叫ぶのです。主はこう語られている。全ての人が主の御心を知るために世に語り続けねばなりません。私たちは主の猛烈な息に生かされているのですから、それらの者には決して殺されません。

この源である息をキリストは受けなさいと命じられています。私たち自身では語りえない言葉を成し遂げるための力をキリストの息を受けることによつて与えられるのです。キリストを語るためにキリストから与えられている息が私たちに真に生かし、預言者としています。

息をしなければ語れないように、この息が無ければ御心を語りえない、成し得ないこと。主が私たち一人ひとりに猛烈な息を吹き込んで臨み、私たちを満たしています。

「主の民すべてが預言者になればよいと切望している」神の御心が現実となることを私たち自身の祈りとして、神からの息に導かれ、強められながら福音宣教が成ることを信じていきましょう。

人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いを、キリスト・イエスにあつて守るよう。

今年、庭の紅梅が1月の中旬に咲き始め、2月の中旬までには満開になりました。

嬉しく思うやら、驚いてしまふやら。勘違いをしたのかしら？間違えたのかしら？暖冬だったから。やはり、地球の温暖化が進んでしまっているからかしら？見ている私たちがいろいろな理由を常識から引つ張り出そうとするかもしれませんし、

今年も、ちよつと待つて下さい。梅の木がイエス様に出会ったのかな。と思うと私たちはイエス様が一人一人に与えられる「とき」を感じることもできないでしょうか。どんなに常識的に見て理解出来ないことであっても、信じられないほど変でも、突

然でも、それは神様であるイエス様が与えて下さる「とき」なんだなあと思ってしまう。私もイエス様に出会う「とき」に向き合う準備はできているのが不安だけど、そのように頼らない私とでも、イエス様は共にいてくださるんだな、だから大丈夫かなって思います。

今年も暖冬とはいえず、気がどうなつていくのか私たちが不安になったり反省したりします。でも、神様であるイエス様が与えて下さる「とき」は、ふざわしい「とき」です。

「多様な性を知るために」



多様な性の在り方についての教会での学びを深めいくきっかけになることを願って発行されました。ご希望の方には1冊150円+送料で頒布いたします(在庫限り)。

製作：JELC社会委員会
2020年3月発行



伊藤卓奈

②「紅梅」

「朝早く、都に帰る途中、イエスは空腹を覚えられた。道端にいちじくの木があるのを見て、近寄られたが、葉のほかは何もなかった。そこで、「今から後いつまでも、お前には実がならないように」と言われると、いちじくの木はたちまち枯れてしまった。」(マタイによる福音書21:18-19)

今年、庭の紅梅が1月の中旬に咲き始め、2月の中旬までには満開になりました。嬉しく思うやら、驚いてしまふやら。勘違いをしたのかしら？間違えたのかしら？暖冬だったから。やはり、地球の温暖化が進んでしまっているからかしら？見ている私たちがいろいろな理由を常識から引つ張り出そうとするかもしれませんし、

今年も、ちよつと待つて下さい。梅の木がイエス様に出会ったのかな。と思うと私たちはイエス様が一人一人に与えられる「とき」を感じることもできないでしょうか。どんなに常識的に見て理解出来ないことであっても、信じられないほど変でも、突

然でも、それは神様であるイエス様が与えて下さる「とき」なんだなあと思ってしまう。私もイエス様に出会う「とき」に向き合う準備はできているのが不安だけど、そのように頼らない私とでも、イエス様は共にいてくださるんだな、だから大丈夫かなって思います。

今年も暖冬とはいえず、気がどうなつていくのか私たちが不安になったり反省したりします。でも、神様であるイエス様が与えて下さる「とき」は、ふざわしい「とき」です。

今年も暖冬とはいえず、気がどうなつていくのか私たちが不安になったり反省したりします。でも、神様であるイエス様が与えて下さる「とき」は、ふざわしい「とき」です。

今年も暖冬とはいえず、気がどうなつていくのか私たちが不安になったり反省したりします。でも、神様であるイエス様が与えて下さる「とき」は、ふざわしい「とき」です。

今年も暖冬とはいえず、気がどうなつていくのか私たちが不安になったり反省したりします。でも、神様であるイエス様が与えて下さる「とき」は、ふざわしい「とき」です。

今年も暖冬とはいえず、気がどうなつていくのか私たちが不安になったり反省したりします。でも、神様であるイエス様が与えて下さる「とき」は、ふざわしい「とき」です。

今年も暖冬とはいえず、気がどうなつていくのか私たちが不安になったり反省したりします。でも、神様であるイエス様が与えて下さる「とき」は、ふざわしい「とき」です。



議長室から 大塚謙治

「外的奉仕のための内的集中」(ボンヘッファー)

危機的な状況になればなるほど私たちの意識は覚醒します。サバイバルのために全力を尽くさねばならないことを本能的に察知するためです。現在世界中で新型コロナウイルスとの壮絶な闘いが展開されています。予断を許さないことは刻々と伝えられる諸外国の現実からも分かります。日本もその渦中にあります。先が見えない恐れと不安の中に私たちは置かれていて、「教会(エクレシヤ)」に集うことが自体が困難となつて

「すべてのいのちを守る」ために私たちが今求められていることは何か。私は思います。それは、神の御言にひたすら聴くことであり、神の御心を知るために無心に祈ること。特に詩編と「主の祈り」を相互に声に出して祈ることが有用です。「キリストの声」に

「ア」は「キリストに呼び集められた者の群れ」のことですが、それは「二つに集められたかたち(主日礼拝や聖研や祈り会等)」と散らされた「アイアスボウ」かたち「日々の生活の両者」において存在します。「共にある日」にも「独りである日」にも、私たちはキリストの身体の一部として結び合わされていて、顕在と潜在を通して私たちがひとつの教会であり続けるのです。私たちが今この時を「外的奉仕のための内的集中の時」として位置づけ、それぞれの場で祈りを合わせてゆきます。お一人おひとりに神の恵みが豊かにありますように祈ります。シャローム。

今年度のルーテル学院大学・日本ルーテル神学校は、ルーテル学院大学総合人間学部104名(編入学を含む)、大学院12名、そして神学校に2名の新入生を迎えてスタートしました。神学校の牧師養成コースの新入生は河田礼生さん(JELC三)

夫先生が就任、神学校校長には都南教会との兼任として立山忠浩先生が就任され、新しい体制での大学・神学校運営が始まりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、既に2019年度末に行われた神学校の夕べや卒業式では感染防止に留意しながら実施されておりましたが、今年度もキャンパスに咲く、前田ケイ先生から贈られた枝垂桜

ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校が 新年度へと歩み出しました



今年もキャンパスに咲く、前田ケイ先生から贈られた枝垂桜

讃美歌と私たち



①賛美歌と私たちの今 小澤周平 (名古屋めぐみ教会牧師)

『教会讃美歌』の編集当時には興味深い話題も。それは、歌の最後に付ける「アーメン」のこと。

すべての賛美歌の最後に本来その歌に含まれない「アーメン」を付ける習慣は、19世紀後半の英国に始まりました。日本では、1931年と1954年に出版された『讃美歌』でのみ採用されました(＊)。この習慣は、聖

歌等では認められませんし、『讃美歌第二編』も踏襲していません。ルーテル教会については言えば、ドイツや北欧では元来、そして、米国でも約半世紀前から、この習慣は見られません。賛美歌の最後に「アーメン」を付ける場合、その賛美歌が礼拝においてどのような役割を担っているかを事前に検討する必要があります。この事は『教会讃美歌』の編集にも議論されました。ぜひ、序文後の「解説」を読んでみてください(興味のある方は『讃美歌21』も参考に)。

戦を試みてきたことが分かります。そして、その挑戦は「サンピカ」の系譜の中で、連綿と継承されてきた取り組みであり、かつ、後世に継承してきた取り組みでした。さて、私たちの今を改めてみましょう。2008年に実施されたルーテルの讃美歌委員会のアンケートによると、JELCのほぼ全ての教会が、『讃美歌』(1954年版)、『教会讃美歌』、『讃美歌21』の単独使用か、ないし、二つ以上の複数併用となつています。従って、この三冊が「サンピカ」の系譜にある、私たちの教会の主要な使用歌集と確認できます。

「ア」は「キリストに呼び集められた者の群れ」のことですが、それは「二つに集められたかたち(主日礼拝や聖研や祈り会等)」と散らされた「アイアスボウ」かたち「日々の生活の両者」において存在します。「共にある日」にも「独りである日」にも、私たちはキリストの身体の一部として結び合わされていて、顕在と潜在を通して私たちがひとつの教会であり続けるのです。私たちが今この時を「外的奉仕のための内的集中の時」として位置づけ、それぞれの場で祈りを合わせ

わたしたちは、その警星と約束を主の恵みの中で、改めて受け取りたいと思います。それは「今」に目を向け、声を聴き、共に歩むことです。ここにこそ希望があると信じています。

9回目の3・11を憶える

久保彩奈(本郷教会)

2011年3月11日。あの時、あなたはどこにいましたか。わたしもあなたも、そして大切な人の命も脅かされた東日本大震災。大地が揺れ、津波が襲来したあの日からもう9年が経つたというのに、わたしたちの嘆きは消え去ることはありません。たとえ記憶の鮮明さは欠いたとしても、あの震災を思い起こしたいと願います。あの日の悲しみと不安、

そしてその後を生きる人々の懸命さと出会い、つながり続けることの意味を想いいます。しかし、この9年で一体何が変わったのでしょうか。被災者、避難者が納得する形での賠償はされないまま、「命」を最優先しない怒りと嘆きがあります。この痛みを、今、感染症拡大という違う形ではありますが、多くの人が味わっていると思います。このような大きな不安の中にも集い、祈りを寄せ合えたことを、感謝をもって「報告いたします」。

わたしたちは、その警星と約束を主の恵みの中で、改めて受け取りたいと思います。それは「今」に目を向け、声を聴き、共に歩むことです。ここにこそ希望があると信じています。



プロジェクト 3・11 JELC 追悼

わたしたちは、その警星と約束を主の恵みの中で、改めて受け取りたいと思います。それは「今」に目を向け、声を聴き、共に歩むことです。ここにこそ希望があると信じています。



ことではありましたが、とてもシヨックでした。近年のカンボジア経済は高成長していますが、そこから弾かれた人々が多く存在することを実感しました。わたしたちが行った時はちょうど干ばつが多いため池が干上がりつつありました。また、少数派のイスラム教信者が多い地域では幹線道路にも関わらず、政府の支援が少ないため、あまり整備されていませんでした。

わたしたち日本人ができる支援は何だろうと考えたときに、現地で活かすことのできる技術や知識の提供がすぐに思い浮かびました。しかし、それらはわたしのような技術も知識もお金もない大学生ができるものではありません。支援をしたいけれど、難しい状況にもどかしくなりました。

「知る」知らせる。ことで支援の輪が広がること、知らなくては何か始まりません、正しく知ること、正しい支援ができるのだと強く感じました。そして、今自分ができることを

したいです。将来、カンボジア支援に携われる機会が与えられたときのための備えをしていきたいです。学びあえる濃い10日間をありがとうございました。

初めて行ったカンボジア。それがJELLAのワークキャンプで良かったと心から思っています。もし単なる観光でカンボジアを訪れていたら、カンボジアが抱える問題に気づくことができなかったと思います。

目の当たりにしました。ビルが立ち並び、人々が近代的な暮らしをする街から、ワークのために車でほんの少し移動すると、舗装されていない道路や清潔な水を使うことができない環境、女性や子どもが安心して暮らすことのできない環境がありました。事前に大学の授業や自身で調べて知っていた

100年を振り返りますと、まさにパウラス先生の信仰の結晶「散らされた人々を集め、ひとりも失われないうようにする」この道標をめぐって歩き続けてきた歴史であったことを実感します。現在、寄附金等を活かした取り組みを進めています。その一つ、里親・養子縁組の支援や家庭福祉相談の窓口の設置については既に取り組みを始めており、障がい者を中心に「誰もが集い、楽しみ、学べる場づくり」として、「地域交流施設」の建築の準備を進めています。

今後の、神様の祝福のもと、人知では計り難い歴史に向かって歩んでまいりたいと願っています。

「知る」知らせる。ことで支援の輪が広がること、知らなくては何か始まりません、正しく知ること、正しい支援ができるのだと強く感じました。そして、今自分ができることを

したいです。将来、カンボジア支援に携われる機会が与えられたときのための備えをしていきたいです。学びあえる濃い10日間をありがとうございました。

みことばの糧に与る。教会がこの歩みを止めることはない。終わりの日に至るまで、礼拝を起点としつつ、神の民として歩み続ける教会。如何なることがあろうとも礼拝は守られていく。建物があるとなかろうと、礼拝は守られていく。献堂式延期を決定したとき、喜びに溢れた晴れの日が失われたように感じた。しかし、我々が歩んできた建築の歩みを考えれば、これも神のご意志と思える。15年の歳月を新礼拝堂で礼拝する日を望み見ながら、あつちに行き、こちに行きと迷いつつ歩んできた。いつになれば、建築に取りかかることができるのだろうかと思ふ。資金が足りず、牧師館は既存のままにしようと考えたこともあった。鉄筋コンクリート造にはさらにお金がかかるというこ

う礼拝であった。そして、新礼拝堂が竣工し、はじめもなく普通に礼拝場所を新礼拝堂に移すだけの礼拝開始。考えてみれば、これで良いのだ。礼拝堂が如何に素晴らしくとも、礼拝堂はただの建物。教会は建物ではない。集め給う神がおられて教会が存続する。このお方に、我々はすべてを献げてきた。これからも献げて生きる。神が喜び給う悔いた心をもって、これからも神によって集められる教会、エクレーシアとして歩み続けて行きたい、来たり給う主を待ち望みつつ。

慈愛園創立100周年を振り返って

潮合義子 (社会福祉法人慈愛園理事長)

モード・パウラス女史の宣教師としての信仰に基づいて始められた慈愛園は、2019年創立100周年を迎えることができました。

まず、11月9日に法人内の3か所の保育所合同のお祝い会を開き、教会堂いっぱいには幼な子たちの声が楽しく元気に響き渡りました。11月16日に記念式典

ホーム・カミングデーの集い、17日に角本浩牧師、大柴譲治総会議長により記念礼拝を行いました。各々の会には卒園生、地域、旧職員、現職員の出席があり、自分たちが過ごした頃の園生活を懐かしみ、思い出話で満たされていきました。

100年を振り返りますと、まさにパウラス先生の信仰の結晶「散らされた人々を集め、ひとりも失われないうようにする」この道標をめぐって歩き続けてきた歴史であったことを実感します。現在、寄附金等を活かした取り組みを進めています。その一つ、里親・養子縁組の支援や家庭福祉相談の窓口の設置については既に取り組みを始めており、障がい者を中心に「誰もが集い、楽しみ、学べる場づくり」として、「地域交流施設」の建築の準備を進めています。

今後の、神様の祝福のもと、人知では計り難い歴史に向かって歩んでまいりたいと願っています。

まず、11月9日に法人内の3か所の保育所合同のお祝い会を開き、教会堂いっぱいには幼な子たちの声が楽しく元気に響き渡りました。11月16日に記念式典

ホーム・カミングデーの集い、17日に角本浩牧師、大柴譲治総会議長により記念礼拝を行いました。各々の会には卒園生、地域、旧職員、現職員の出席があり、自分たちが過ごした頃の園生活を懐かしみ、思い出話で満たされていきました。

今後の、神様の祝福のもと、人知では計り難い歴史に向かって歩んでまいりたいと願っています。



讃美歌の合唱で始められた記念式典



神水教会における記念礼拝



記念交流会



なごろ希望教会新礼拝堂 竣報告 「神集め給う教会として」 末竹十太 (なごろ希望教会牧師)

新型コロナウイルス感染予防のために、2020年3月8日に予定していた献堂式を延期する決断をして、3月1日から新礼拝堂での礼拝が開始された。何となく、けじめのない新礼拝堂での礼拝開始と思つたが、礼拝は特別の出来事ではない。いつも週の初めには一人ひとりが集められ、



TNG・ユース部門 リーダー研修キャン プ 沖縄のご案内

TNGユース部門で昨年
から始まった「リーダー研修
キャンプ」を本年も開催いた
します。新型コロナウイルス
の影響など懸念されています
が、開催する予定です。本年
は、9月7日(月)～10日(木)
の予定で沖縄での開催となり
ます。沖縄の歴史と現在を見
つめ、私たちが神の御ことば
を聴き、与えられた御心に
そつて社会に何を語るべきか
を考えます。沖縄の戦前、戦
中、戦後を見つめる実地研修
を踏まえながら、黙想を深め
祈りの時を持つプログラムで

す。どうぞ教会の青年たちに
このプログラムを、紹介くだ
さり、将来ルーテル教会を担
う人材の育成を共に担ってい
ただければ幸いです。各教会
に募集要項を送付しています
ので詳細についてはそちらを
参照してください。



開催日程 2020年9月
7日(月)～10日(木)
参加費 3万円(交通費・宿
泊費込み)
対象年齢 18歳(学生以上)
募集人数 最大14名
申込締切 2020年6月
7日(日)
申込先
「Eメール」
tngyouth@gmail.com

もしくは
フックス(0798)233-
1765
受付担当 竹田大地宛
※航空チケットの手配のため
締切厳守とさせていただきます
す。締切以降の申し込みにつ
いては、別途航空機代を頂く
可能性があります。



スオミ教会移転報告②

吉村博明(スオミ教会派遣
SLEY信徒宣教師)

(前号より続く)
その後これ以上改修しても
問題は解決しないとの結論に

至り、2017年の臨時総会
で「賃貸物件に移転してそ
で教勢拡大に努め、土地建物
の売却金・プラス自己資金を
もつて自前の教会を目指す」
という決定がなされました。
賃貸物件探しは難航を極

めました。宗教目的はどこで
も敬遠されたからです。臨時
総会から2年、やっとひとつ
早稲田大学の近くに見つけ
ました。契約、引越、改修等
の初期費用は半額近くをフ
ィンランドの国教会からの支援
に負いました。改修して、小
さけれど明るく、慎ましい感じ
の礼拝堂と集会室を備えた
教会が出来上がりました。昨
年9月、徳野東教区長(当時)
をお迎えして献堂の祝儀をし
ました。今後は臨時総会で決
めた目標を目指して、この早
稲田の地で伝道に励み教勢を
拡大していかなければならま
せん。



日本福音ルーテル教会財務委員会からのお知らせとお願い

主のみ名を讃美いたしま
す。

感染症拡大の中で、すで
に2月下旬から公開の主日
礼拝、また週日の集会等を
中止されている教会が多い
ことと思います。また4月
9日の「議長談話」にある
通り、「緊急事態宣言」が出
されたことよつて、今後
も、この傾向は続くものと
理解しております。このよ
うな状況の中で各個教会
におかれましては、献金収
入が大幅に減少しているこ
とと思ひます。財務委員会
では、このような状況を把

握しつつ、以下の対応を検
討していること、また各個
教会にお願いしたいことを
まとめました。ご協力をよ
ろしくお願い申し上げます。
財務委員会としては、今
後、各教区、神学校と協議
調整を進めつつ、以下の施
策をもつて、この事態に対
応することを検討していま
す。(日本福音ルーテル教会
常議員会にて最終的に決
定されます。)

- ① 協力金の減免
- ② 「建築積立会計」から
「繰入金」の参入を認
める(協力金の対象額か
ら除外する)

また各個教会には以下
のことを当座の対応として
お願いいたします。

- ① 「牧師給」につきましては
これを堅持して頂きたく
お願い申し上げます。
- ② このために社会保険料
の牧師負担分、教会負担
分につきましては202
0年度末まで猶予するこ
とができます。加えて協
力金、転任積立負担金
郵税献金、神学生奨学
金負担金等についても同
様に2020年度末まで

猶予することができます。
③ また各個教会の積立
金、「一般積立会計」、
「建築積立会計」に資金
の留保がある場合、これ
を用いて対応をお願い申
し上げます。

- ④ それでも資金的に困
難な場合、各教区に資
金貸付をお願いしてい
ます。その際は、遠慮な
く教区長にご相談くだ
さいますようお願いいた
します。

未曾有の出来事の中で、
信徒の方の中にも生活に困
窮を覚える方も多くおら
れることと推察いたしま
す。また感染症への対応が
長期化することが見えれ
ます。今後も、財務委員
会は状況に応じて柔軟に対
応していく所存です。
日本福音ルーテル教会の
宣教の屋台骨を支える教職
の生活を支えることが、主
の御業の進展を支えると信
じて、すべての信徒の力を
合わせて、この難局を乗り
越えていきたいと考えます。
ご協力をよろしくお願い申
し上げます。

2020年4月10日
日本福音ルーテル教会
会計 木村猛
財務委員会委員長 古屋四朗

第29回日本福音ルーテル教会総会 延期のお知らせ

滝田浩之(事務局長)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴い
標記の件、日程が変更されたことをお知らせいたします。

開催日時
2020年9月21日午後1時～9月22日午後3時半まで。
開催場所
ルーテル学院大学
東京都三鷹市大沢3-10-20

第28期第7回常議員会にて承認されました。9月までの行政は、
新たな教区常議員を加え第28期総会期が継続するものとします。